

## 第 29 期 <2022.10.1 ~ 2023.9.30> 活動報告

### ■ 1 年間のまとめ

第 29 期については次の 5 つの課題を掲げて活動しました。

- 1) 各部会の活動により、歴史的建造物の保存・活用に対する所有者支援や建造物の文化財登録等を推進します。
- 2) 見学会・講習会を開催し、古建築や再生建築の良さを市民等に普及・啓発します。
- 3) 会員の相互交流を強めると共に国や地方行政機関を含む関連団体との連携を図ります。
- 4) 財務活動を柱にNPO法人の運営能力や事務能力を高めます。
- 5) 「京都市文化財マネージャー育成講座（建造物）」を事務局団体として引き続き開講します。

今期は新型コロナウイルスの感染拡大がある程度落ち着いたこともあり 5 月頃から急速に社会活動が再開されました。会としても

リアルな見学会や勉強会を徐々に企画運営して来ました。会議は ZOOM を併用することが一般化し、遠方の会員との意見交換に活用されています。

奥田家(分家)と史跡山科本願寺跡公園の管理事業の受託は 2 年目に入り、徐々に地域との関係を築いています。奥田家(分家)の座敷を会場とした会議やイベントも確実に増加しています。

### ■ 部会等の活動報告

#### (1) 利用相談部会 + 古材文化の会設計室

- ① 利用相談部会は、古い建物の再生や古材の利活用などの相談に応じる部会で、現在 15 名の部会員で構成しています。利用相談の依頼に対して毎月の定例部会で協議し、「古材文化の会設計室」と共同して対応を行っています。
- ② 2022 年度 古材文化の会設計室 設計監理業務
  - ・ 2020 年 4 月 ~ 12 月 泉大津市 寺院 改修工事
  - ・ 2021 年 3 月 ~ 3 月 京都市東山区 旧邸宅(国登録文化財) 耐震修理工事
  - ・ 4 月 ~ 現在 京都市左京区 旧住宅洋館離れ(洋館 市指定) 調査業務
  - ・ 5 月 ~ 現在 京都市北区 旧住宅門(市指定・国登録文化財) 部分修理工事
- ③ 定例部会では、利用相談物件の管理を行いながら、それぞれの相談物件について意見を出し合い、担当者を選定して現地確認や相談者との面談など、適切な対応を検討しました。
- ④ 利用相談部会員を対象に改修物件の現場見学会・完成見学会を実施。

#### (2) 企画部会

- ① 企画部会は一般市民が気軽に参加できる企画を中心に実施しています。
- ② 5 月 27 日 28 日 愛媛県松山市三津で全国集会を開催。参加者 21 名。
- ③ 下京区の Aotake で「古材文化の会ふで文字じかん」を 11 回開催。
- ④ 企画部会の企画行事として下記の行事を行いました
  - ・ 山科このまちあるきを 3 回開催。11 月 5 日、1 月 9 日、4 月 9 日
  - ・ 生け花教室を奥田家で 4 回開催。10 月 15 日 12 月 18 日、3 月 5 日、7 月 23 日
  - ・ 第 2 期生け花教室を奥田家で開始。9 月 23 日 参加者 8 名

- ・12月3日奥田家座敷で「お正月に飾ろう、しめ縄作り」参加者18名
- ・12月11日奥田家座敷で民家についての講義とミニチュア民家模型の展示
- ・3月12日座敷庭等の整備を学ぶ講座開催。参加者：10名。講師：鷲田悟志
- ・6月4日10時から地域の春の清掃活動 史跡公園の草抜き、会員11名参加
- ・6月3日京都市左京区広河原の杜若家のカキツバタ鑑賞会開催。参加者：10名
- ・9月2日から甲乙塾「中門の解体修理を学ぼう」を開始。参加者：6名

⑤ 「ぶんぶんカフェ」の企画行事として

古材文化の会主催の行事

- ・10月29日「旧太田喜二郎家住宅・見学会と座談会」 参加者10名
- ・11月26日「西陣織屋建てを訪れて」見学とお話 参加者14名
- ・3月18日「文化住宅を地域に開いて・いきな」見学とお話 参加者9名
- ・9月16日「八木邸との出会い、保存活用」見学とお話 参加者16名

その他、文化財マネージャーの座談会、交流会の場としての行事

- ・12月18日 京都モダン建築祭ミニガイドツアー報告会
- ・5月14日 文化財マネージャーの調査報告交流会

ぶんぶんカフェとして「町家の日」に参加、不定期でおしゃべりの会+ぷらす。

- ・1月平出さんのお金の話、3月津田さんの農業の話 6月光本さんの屋根の話

⑥ 古材ネット

古材市の開催

- ・12月10日（土）11日（日）「古道具と古材 大放出事at石田ファーム」
- ・8月5日（土）KOMOFEST2023にて 本願寺山科別院軒下ミニ古材市
- ・8月13日（土）広河原里山フェスティバルにてミニ古材市（見守る部会）

古材レスキュー

- ・4月22日 見守る部会原田さんより依頼・河崎邸の片付け
- ・その他、事務局や知人情報より複数の家から古材を譲り受ける

古材ネットの仕組再検討について意見交換

（7/14、8/26、9/2、9/22 リアル打合せ+zoom+LINEworks）

- ・従来の古材ネットはルールが明確ではなく、不透明な部分もありメンバーで共有できていなかった。現在、ルールを整理、再検討し明文化することで共有し新メンバーも参加しやすい体制での活動を続けていくために意見交換を継続。
- ・運営メンバーとは別に「古材ネット応援隊」LINEグループを作り、古材市や古材レスキューなどでスポット応援に参加しやすくするフェリシモ社企画「廃材活用に関するプロジェクト」への参加
- ・フェリシモ・ハッピーキャッププロジェクト参加について理事会で検討
- ・「古材ネット」として支援を受けることとし、フェリシモ財団と覚書を交わす（具体的には2024年8月に寄付を受け、その後1年間の活動報告を行う予定）

（3）見守る部会

- ①見守る部会として発足して6年を経過しました。現在12件の建物を「見守るネット」に登録いただき、「修理」「活用」「継承」などそれぞれの抱える課題について、担当マネージャーを中心に対応を行っています。また、見守るネットに未登録の建物も「大切にしたい建物リスト」に挙げて活用などの可能性を探る取り組みを行い、すそ野を広げるようにしています。
- ②伏見区藤田家では、「京都伏見珈琲 権十郎café」として生まれ変わり、人気のカフェとして親しまれています。11月18日には地元の方の案内で横大路のまち歩きと権十郎caféを訪ねるイベントを行いました。

- ③下京区田中家では、京都市立芸大の「テーマ演習」の場として利用され、4年目を迎えました。10月には芸大が京都駅東地区に移転してきました。これを機に今後の新たな展開を検討しています。
- ④南区長谷川家では、当家の資料の整理と読み解きをお願いしている元京都市歴史博物館員の伊東宗裕先生による連続講座を行いました。守られてきた建築と資料をいかに後世に残し伝えるか、改めて考える良い機会になりました。
- ⑤左京区杜若家では、惟喬親王お手植えと伝わるカキツバタが群生しています。「かきつばた応援隊」を結成しカキツバタ鑑賞イベントの企画、地域のイベントに参加し、その魅力を広める活動をしています。
- ⑥北区日下部大助家では、周山街道沿いの旧家を今後どのようにしていったらよいか相談を受けています。まずは、この建物を知ってもらうことから始めよう…ということで、2022年11月と2023年9月に見学会を行いました。今後もいろいろな企画を行いながら、所有者さんとじっくり考えていきたいと思えます。
- ⑦「見守るネット」の地域版の取り組みの一環として、伏見区醍醐地区と南丹市美山町北村地区での取り組みを行っています。  
醍醐地区では、地元在住の見守るマネージャーによる活用の取り組みである「山田家活用フォーラム」の活動サポートを行っています。山田家では古民家相談窓口の他、和楽器コンサートなどのイベントやレンタルスペースとして活用されています。  
美山町北村地区では令和4年度に南丹市の委託で「現況調査業務」を行いました。令和5年度はその調査をベースに、改修時に役立つ「デザインガイド」づくりに向けた取り組みを、地元保存会の皆さんと進めていく予定です。

#### (4) 古材文化の会伝統建築保存・活用マネージャー会＝愛称KOMO

- ①毎月行っている定例会を継続して開催しています。今期は、会場に集まる機会も増えてきました。毎回ご登壇頂く皆さんのお陰で、90分程度の（勉強会）も大変充実した内容となっています。ZOOMを併用して開催しており、毎回20～30名の参加があります。文マネ終了直後の13期からも多くの参加があります。
- ②「全国ヘリテージマネージャーネットワーク協議会」に運営委員として参加し全国の他団体との交流や情報交換を行っています。また「近畿ブロック協議会」では2カ月に一度くらい2府4県の代表者並びに担当者で会合を継続しています。
- ③「第13期京都市文化財マネージャー育成講座」は1月14日から開講し、7月22日に無事修了式を迎えることが出来ました。13期修了生は活動に対して意欲的な方が多く、KOMOの定例会や古文書勉強会、京都を彩る建物や庭園制度の認定調査などにも多くの方が参加されています。
- ④8月5日に本願寺山科別院多目的ホールで「KOMOフェス2023」を開催しました。前半、話題提供としまして山科区で活動を続けておられます（ふるさとの会）の浅井定雄氏からお話頂きました。その後6名のKOMOメンバーの活動の発表があり会場では古くて懐かしくて楽しいものを並べた「古材市」もおこなわれ、ぶんぶんカフェからは美味しいコーヒーが提供されました。しばらくご無沙汰していたメンバーや初めて参加された方にも、改めてOBやOGの皆さんとのふれあいが生まれたと感じています。
- ⑤定例会での報告内容やプチ勉強会の企画、講座のサポート活動、その他KOMOの各プロジェクトをみまもるため、毎月第1木曜日にKOMO部会を開催しています。現在8名の部会員で、様々な事案について相談し議決しています。
- ⑥有井代表率いるKOMOライダーズクラブですが、今期は11月に愛知県、4月に

は石川県に、7月は奈良県と大阪府と、合計4つの重伝建地区の見学勉強会を行いました。

- ⑦古文書勉強会は月に一度、明治期の普請願書などを読み解くため、日向会長よりご教示頂いています。昔の材料の種類や材質、職方さん達の出面など、それぞれの単価なども記してあり、楽しみながら勉強会を続けています。
- ⑧11月19日20日には、西京区の（苔香居）にて「京の歴史文化探検・体験事業」をおこないました。西京区役所からの依頼ですが、発注元は京都市文化観光資源保護財団で、区内の小学生と親御さんを対象に、自分たちで割ったマキを使っておくどさんで炊いたご飯を食べ、内部空間や意匠、設えの見学、明治期の民具や農具の見学など、2日間で50名ほどの参加者の案内をしました。多くの会のメンバーに協力頂き、新聞社からも取材が来て大変好評でした。
- ⑨今期の全国集会はKOM0企画で、5月27日、28日に愛媛県松山市三津にて行いました。メンバーの池田由美氏が、これまで何度も訪れて建物調査や地元の方との交流を持ち、本を執筆されたことから、数軒の歴史的建造物の奥の奥まで案内して頂き、大変有意義な見学勉強会となりました。
- ⑩『亀岡のまちあるき』を2回に渡って開催しました。2回とも午前中は亀山城址を見学し、午後は旧城下町を歩きました。亀山城址見学では、1回目の見学の参加者の姿勢を大きく評価していただき、2回目では今までに一般公開されたことのない貴重な建物を案内していただくことができました。旧城下町のまち歩きでは、文マネの修了課題として以前に取り上げられた関酒造さんを2度とも訪問し、建物を維持していく悩みや方法などの意見交換をおこないました。

#### （5）歴史ある建物調査室

歴史ある建物調査室（歴調）では、第29期の活動計画として、「登録文化財や景観重要建造物の申請に関わる調書作成、また、市町村からの歴史的建造物に係る委託調査を行う」ということを掲げていました。

##### 【登録文化財・その他調査関連】

国登録有形文化財の申請に向けて、大阪府四條畷市の田中家住宅の調査を見守る部会と合同で実施しています。

##### 【京都を彩る建物や庭園制度関連】

- ①第28期に引き続き、“京都を彩る建物や庭園（京彩）”制度における令和4年度認定候補建物調査として9件の委託を受け調査に取り組みました。
- ②10月4日に京都市において今年第1回目の審査会が行われ、9件のうち2件が「認定」建物として認められました。残り2件については、12月行なわれる第2回目の審査会において諮問されます。
- ③令和5年度の認定調査は、例年同様に京都市文化財保護課より提示を受けた9件について調査に着手しています。

第29期中においては、第13期京都市文化財マネージャー育成講座を受講した4つの班に対して第12期講座と同様に、演習・修了課題地を“京都を彩る建物や庭園”制度によって既に選定されている建物のなかから提示し、同制度による「認定」を視野に入れた調査・考察作業に取り組んでいただきました。これらの成果については、従来の認定調査建物と同様に「認定」建物候

補として来年の審査会対象になります。一部の建物については12月の審査会に諮問される可能性もあると、文化財保護課より報告を受けています。

- ④ “京都を彩る建物や庭園（京彩）”制度に対する取組みとしては、文化財マネージャーを対象に、同制度の調査への参加を促し、或いは制度の関わりを深めるため、スキルアップ的な機会を設けています。
- ⑤ 今期は今年1月に景観まちづくりセンターで、“京都を彩る建物や庭園・認定調査の成果発表”と題した「京都市文化財マネージャースキルアップ講座」を所有者交流会を兼ねて実施し、過去の調査案件のなかから、京北の茅葺民家や町家の3件を例として示しました。調査・考察の概要と活用の状況について、11年目として初めての機会を得たもの、今後、定期的実施したいと考えています。
- ⑥ 8月には、KOMOフェスにおいては、平成24年度の開始以降、過去11年間において100件に及んだ調査実績について、その変遷を示し総括について発表いたしました。
- ⑦ “京都を彩る建物や庭園”制度における過去の調査実績については、調査の技術や順応性の向上につながるよう活かすための、アーカイブ化の作業に取り組んでいます。今期は、前述の過去11年間の全調査について考察や報告書をフォーマット化し集約するまで完了しています。
- ⑧ 昨年より京都モダン建築祭に文化財マネージャーとしてガイド活動に参加しています。“京都を彩る建物や庭園”における考察や協働作業としての活動のスキルを活かすなど、文化財マネージャーによる新たな活動域を探るという観点から京都市文化財保護課より打診を受けたもので、その経緯から“京都を彩る建物や庭園”認定調査の経験者によるチームを構成し『京都市文化財マネージャーといく建築祭』と名付けられたミニツアーのガイドとして取り組みました。昨年は11月11～13日の3日間の開催で、直前に打診を受けての有志11人による参加であったため、この場での報告を控えていましたが、今年は、11月2～4日、及び11～13日の計6日間、岡崎、中京、御所西の3つのコースで1日3回、延べ54セットのミニツアーにおいて24名の文化財マネージャーがガイドを務めました。

## （6）年輪年代学研究所

- ① 「年輪年代学研究所」は、使用部材の年輪年代法による年代測定や使用木材の樹種同定を行う研究所です。建築年代の不明な建造物の年代判定や木材同定について所有者等から委託を受けて調査をしています。
- ② 29期は、会への調査依頼はありませんでした。

## （7）第13期京都市文化財マネージャー育成講座（建造物）

- ① 「第13期京都市文化財マネージャー育成講座（建造物）」を開催しました。  
2023年7月22日に修了式を迎え、受講者36名のうち、全科目を履修した31名が講座を修了し、
- ② 優秀な修了課題をまとめた班に殊勲賞・敢闘賞・技能賞・特別賞が授与されました。また、第11期講座受講者の2名が補講修了しました。
- ③ 古材文化の会が講座の事務局を担当しKOMOが講座の運営を行いました。